四国化成

門まわり商品

表札

取付・取扱説明書

四国化成の製品をお買いあげいただきありがとうございます。
末永くご愛用いただくために、この「取付・取扱説明書」をよくお読みいただき正しい施工とご使用をお願いします。

●施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。

施工上・使用上の注意事項

1.穴をあける際、壁の中の電気配線を避けてください。電気配線の断線のおそれがあります。
2.通路の頭上には取りつけないで下さい。出っ張りに当たってけがをする恐れがあります。
3.この製品に子供さん等、ぶら下がらないで下さい。変形したり、破損し、思わぬけがをする事があります。
4.シンナー、ベンジン、みがき粉、タワシなどを使って清掃しないでください。
　変色、キズ、破損、塗装はくりをおこす恐れがあります。
※ この「取付・取扱説明書」は、工事完了後お客様にお渡しください。

施工の前に（梱包別部品一覧表）

ダンボールケースには、下記の品が梱包されていますので、十分確認してください。
●表札

部品名称	形　状	数量
表札本体	表札によって異なります	1

部品名称	形　状	数量
ボルト（本体に取りつけ済の商品もあります）	（種類・本数は表札毎に異なります）	–

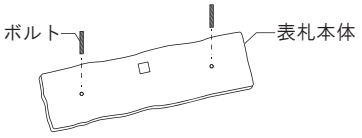
部品名称	形　状	数量
取付・取扱説明書		1

施工の手順

1 ボルトの取りつけ　（本体に取りつけ済の商品は取りつけ不要です）

1.付属のボルトを表札本体の裏側に取りつけます。

注)ボルトは手でガタツキが無くなるまでしっかりと取りつけてください。ペンチなどの工具を使用されますと、締めすぎにより表札本体が破損するおそれがあります。



※ 図はタイル(パステルタイプ)の場合

2 表札の取りつけ　（照明(オプション)を取りつける場合は、3 02:LED照明(オプション)の取りつけを先に行なってください。）

■アートウォール、その他中空構造に取りつける場合

1.取りつけ位置を決め、壁面にドリルで**ボルト径と同径の穴**をあけてください。バリは除去してください。

2.**【表札裏面を壁面に直接取りつける仕様の場合】**
表札裏面とボルト、壁面の穴に接着剤を適量塗布してください。その後、ボルトを差し込み、圧着して取りつけてください。（図１）

【表札本体を壁面から浮かせて取りつける仕様の場合】

●壁面が厚さ５㎜以上
ボルトと壁面の穴に接着剤を適量塗布してください。その後、ボルトを差し込み、表札を圧着して取りつけてください。（図２）

●壁面が厚さ５㎜未満
ボルトを差し込み、**壁面の裏から**ボルトと壁面の接合部に接着剤を塗布してください。
壁面の裏からの接着が出来ない場合は取りつけできません。

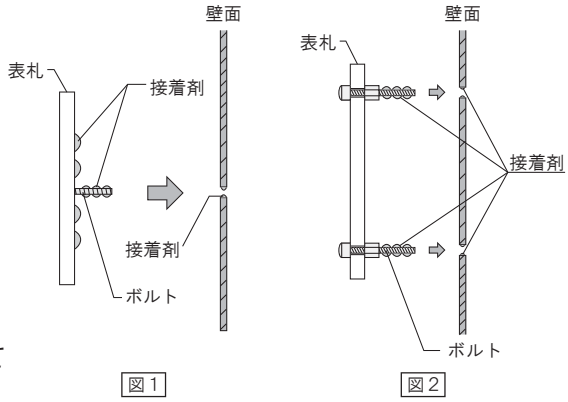


図１　図２

注1)塗布後は余分にはみ出した接着剤を拭きとってください。

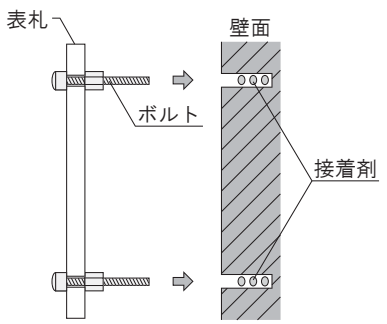
■既存コンクリート壁に取りつける場合

1.取りつけ位置を決め、壁面にコンクリート用ドリルで、**ボルト径より１～2㎜大きめの穴**をあけてください。

2.開けた穴のホコリを清掃し、接着剤を入れます。

3.ボルトを指し込み、圧着して取りつけてください。

注1)推奨接着剤(現地にて手配ください)
「コニシ㈱製 ウルトラ多用途 S・U」
注2)塗布後は余分にはみ出した接着剤を
拭きとってください。

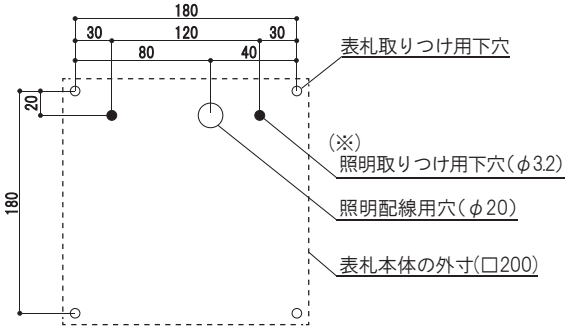


3 02:LED照明(オプション)の取りつけ (02:LED照明の取付説明書を参照の上、下記内容と合わせて取りつけてください。)

1.表札によって取りつけ推奨位置が異なります。右図を参照の上、照明の取りつけ位置を決めてください。

注)右図は、表札が標準品の場合です。
表札によっては名前の大きさやレイアウトを変更している場合がありますので、文字の切り抜き部から照明器具が見えない位置に取りつけるようにしてください。

【表札外寸□200mmの場合】

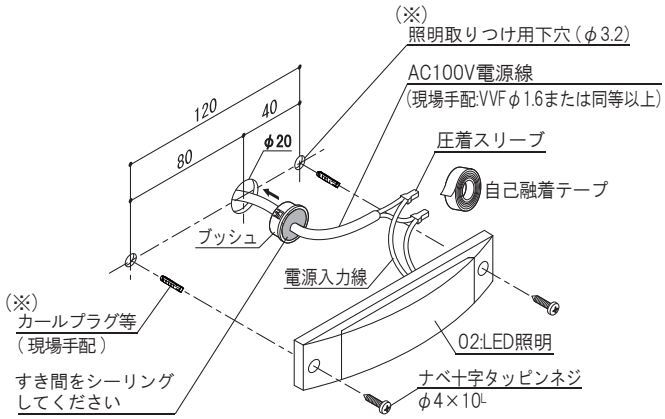


2.照明の取りつけ位置を決め、φ3.2の下穴をあけてください。

(※)取りつける壁面の種類によって、下穴の大きさを調整したり、カールプラグ等を別途準備してください。

3.ブッシュとAC100V電源線のすき間はシーリングをし、防水加工を行なってください。

4.02:LED照明を取りつけ、表札本体を取りつけてください。



保守とお手入れ

【全表札共通】

●基本的には、乾いた柔らかい布で軽く拭いてホコリを取るだけで結構です。
●汚れがひどい場合は、中性洗剤を薄めた液で汚れを落とし、洗剤が残らないように水洗いした後、から拭きしてください。
●酸性洗剤・アルカリ洗剤・シンナー・ベンジン、みがき粉、タワシなどを使って清掃することは避けてください。腐食や変色、キズ、塗装ハクリ等の原因になります。
●定期的にお手入れや点検を行ってください。
(１ヶ月に１～2回はお手入れしてください。また、台風や風雨等で水分が付着した後は別途早めの洗浄をしてください。)

【ステンレス製品】

●特に工業地帯ですすや鉄粉が付着しやすい場所や、海岸が近く潮風にさらされる場所ではお手入れをされないとさびを誘発する場合がありますので、表面の汚れは早い時期に中性洗剤を含ませた布で拭いた後、水拭きしてください。水分は柔らかい布で完全に拭きとってください。

【真鍮製品】

●緑青が発生した場合、緑青は比較的脆いため、乾いた布で表面を傷付けない様こすり取り除いてください。その後水洗いしてから、から拭きしてください。※ 緑青は水に溶けにくく無害です。

●改良のため予告なしに製品の一部を変更することがありますのでご了承ください。

四国化成工業株式会社
No.20151201-001